

令和7年

多気営農センター

たより 9月号

稲刈りも概ね終わりを迎え、農繁期は一段落してまいりました。丹精込めて栽培をされたお米の保管は、下記のダイキン製米用低温保管庫『米ッ庫蔵（こめっこぞう）』がおススメです。

大切なお米の管理、農協にお任せください！

周辺に優しい静音運転

小型米用低温保管庫
米ッ庫蔵
こめっこぞう

最大270袋まで
収納できる、
米専用タイプも
ご用意
しています。



大画面で見やすく・簡単な操作パネル



抗菌・防カビ仕様

お米はもちろん、
野菜・飲料も低温
保管可能！

2～15℃の幅広い範囲で保管
に適した温度で調節可能！

おいしいお米をいつでも皆様のもとへ！

シンプルで大画面の操作パネル

- ・温度表示は見やすい発光デジタル
- ・機器やセンサー異常はパネル表示
- ・米／野菜モードの切替はワンタッチ

外気温度 0～43℃
まで対応し、夏場の
高温時にも十分な
性能を発揮！

お手入れ簡単
樹脂製スノコ

結露を防ぐ

召し合わせ部ヒーター

庫内を仕切れる棚

(別売品)

扉下がり

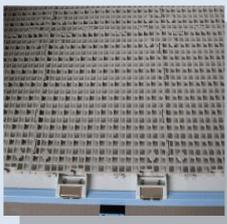
防止機能を装備

移動がラクラク

大型キャスター

丈夫な

シリンダー錠



『ダイキン米低温保管庫/米ッ庫蔵』タイプ一覧

タイプ	米・野菜モード(2～15℃設定)タイプ				
	0.2坪タイプ	0.2坪タイプ	0.3坪タイプ	0.4坪タイプ	0.4坪タイプ
内容積(玄米 30kg袋)	12袋	14袋	21袋	28袋	32袋
外形寸法(高×幅×奥行mm)	1840×934×900	1990×934×900	1990×1284×900	1990×1500×1000	2140×1500×1000

冷却ユニットのみの交換もできます！

詳しくは多気営農センターまで 0598-39-6170



営農指導員たより



朝晩の気候はずいぶん涼しくなりましたが、日中はまだまだ暑い気候が続いております。また稲刈りも概ね終了し農繁期も一段落してきた頃かと思えます。

水分補給・体調管理には十分に気を付けていただき、下記を参考に管理をお願いします。

お茶 8月下旬～9月は、茶芽が年間で最も伸長する時期になります。施肥、防除が重要な作業となります。下記を参考にしてください。

1. 秋肥の施用

翌年の一番茶の収量に大きく関係するので根が伸びる時期までに施用し深耕して下さい。

8月下旬～9月中旬

有機ごまの大地ペレット 160kg/10a

お茶かなペレット833 160kg/10a

2. 防除

9月上旬（開葉初期）

炭疽病・もち病・新梢枯死病 スクレアフロアブル 2,000倍/3日前

チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ・チャノホソガ

ダントツ水溶剤 2,000倍/7日前

秋冬野菜



秋冬野菜は、定植が1日遅れると収穫は1週間遅れると言われております。適期定植を心がけてください。品目によりませんが、播種後20日～30日程度が育苗期間になります。定植後は土壌が乾いているようであれば少なくとも3日間～7日間はしっかりと灌水し苗の活着を促します。灌水のムラがそのまま生育のムラになるので灌水ムラのないように丁寧に行います。また、定植日の前日又は当日に液肥を入れておくと苗の動きも良くなり、おススメです。

今年もヨトウムシの発生が早く、誘殺数についても、非常に多くなっております。秋冬野菜や大豆等は大きな被害を受けることがあります。状況に応じ適宜防除に努めてください。

※農薬使用時はラベルをよく読み、登録作物を確認してから使用しましょう！



肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは



多気営農センター 39-6170 まで 担当の営農指導員が対応致します。